



2013年1月



アフガン ニュース

最新情報

経済成長情報

2002年から国内総生産が5倍増加し、年間成長率は9%ほどに達した。

アフガニスタンの輸出品が15億ドルを達した。

アジア、ヨーロッパ、アメリカなど43カ国がアフガニスタンからドライフルーツを輸入した。



Photo courtesy of Bakhtar News

カルザイ大統領とラースール外務相、アメリカへ重要な代表派遣

カルザイ大統領とラースール外務相は1月上旬、アメリカを訪れた。大統領は要人たちと会談し、またスピーチも疲労した。

ファティミ大使、フィリピンのアキノ大統領に 信任状を贈り、要人たちと会談

ファティミ大使は1月10日にフィリピン共和国のベニグノ・アキノ3世に非居住大使としての信任状を贈った。

その模様は、Youtubeで。

http://www.youtube.com/watch?v=_DkFub4Asjk&list=UU46YJ9p0d6MSUXRZFRZrwGQ&index=6

カーペット産業発展のための 教育機関の設立

アフガニスタンカーペット生産輸出協会は織物教育専門機関の設立を検討している。同組織が設立されれば、固有の伝統、生産技術の伝承と、職人の技巧を国内に広めることに大きく貢献するだろう。教育科目には、原料の加工、カーペットデザイン、織り加工、色づけ、販売促進技術が含まれる予定である。

識字率の急激増加

教育への強い取り組みの結果、大人から青少年まで識字率が増加した。現在の識字

(Continued on page 2)

今号のコンテンツ

最新のニュース Pg.1-3

イベント案内 Pg.3

率である35%を10年後には55%、20年後には80%に増加するのが目標である。パルプ州では毎年約20,000人が読み書きできるようになっており、昨年はその数が23,000人であった。

助産婦教育の継続

育児出産過程の安全性を高めるため、アフガニスタンで助産婦教育が引き続き進められている。パルワン週のパルワン、パンジシール、カピサ地方では今月60人の助産婦が26ヶ月の育児出産過程プログラムから卒業している。助産婦はそれぞれの地域の健康施設で働く予定だ。

電力供給の拡大、多様化

太陽光発電会社ズラリスタンの代表シャリフラ・モハマディ氏は、アフガニスタンの広大で照らされた砂漠と独特な地形が150メガワットのもの

エネルギーを生産する太陽光発電所の設立を可能とするだろうと述べた。一方、水エネルギー省は、より高い生産力の可能性を示唆し、太陽光発電所の建設により10万メガワット以上の電力を供給することを見込んでいる。

年間320日晴天とされているカンダール市のカンダハール大学では電源システムをディーゼル燃料系統から太陽光発電に転送し始めている。アリゾナ州のファーストソーラー、そしてアメリカからの強力を得て合計900の太陽電池パネルがインストールされる予定であり、さらには170キロワットのエネルギーを徐々に作り出し地域社会に貢献するだろう。備え付けは1年で完成する予定である。カンダハール大学はアフガニスタン初のエネルギー部門を設けており、このプログラムの焦点はカンダールのエネルギー潜在資源の最適化である。副学長でリードエンジニアのアブドゥル・タワブによると、このプログラムと太陽光発電の

利用は「他の大学やアフガニスタン全土でひとつの例として役立つだろう」と述べている。

水エネルギー省はアフガニスタンで風力発電を増加させる計画を進めている。現在実現性とその手段を確立する試験をカブール、ヘラート、パルプ、サマンガン、パルワンでドイツと共同で行っている。現時点では、2つの風力タービンはそれぞれパクティカとパンジシールの各州で使用されている。

クンドゥズとバグラ市の合計41,000世帯に電力アクセスを提供するネットワークを30ヶ月で開発する新しいプロジェクトが運行されている。DABSと言う政府機関が建設と管理を監督する。このプロジェクトはMAAMAARとアジア開発銀行の支援を受けている。



鉄道駅と税関が現在建設中

1月5日、ジャララバッドトルカム高速道路沿いのヒサーシャヒ地域周辺で鉄道駅と税関の建設が始まった。税関は1000エーカー、ヒサーシャヒとペシャワールを繋げる予定の鉄道駅は500エーカー大で建設予定である。

地域女性事業連合運営開始

バルフ商業産業室は働くアフガニスタン人女性にビジネスの成果と生産性を上げるために協力を促すプログラムを始めた。この団体はバルフ女性農業生産工程と名付けられカンディグルジャンアマキ氏が会長に選出された。

主要農産品の輸出増加

サフランの輸出が去年2011年の1600kgより200kg(14%)増加した。アフガニスタンレーズン果物野菜奨励機関によるとヘラートとガズニのサフランは世界的に高く評価されている。同じ期間に玉ねぎ、じゃがいも、トマト、セロリなど2000トンの輸出も増加。ドライフルーツにおいては、去年43カ国が輸入した。2012年、アフガニスタンにおける輸出は15億円に上った。

外国企業への投資奨励

アフガニスタンで外国企業の投資を容易にするために、政府は2013年に1億



円以上投資した企業のために10年間税金の免除と企業が事業を始めるのに必要な土地を無料で提供することを発表した。

アフガニスタン代表チーム、サッカーアジアカップへの準備開始

アフガニスタン代表16人が首都カブールでアジアカップへの準備のため10日間のトレーニングセッションを行った。イベント直前にもトレーニングを行う予定である。アフガニスタンが出場するグループCにはモンゴル、スリランカ、ラオスなどの強豪が多くいる。

イベント案内

文教大学祭(2013年2月23日) 神奈川県茅ヶ崎文教大学にて開催されるアフガニスタン関連イベント。

内容:ファティミ大使によるアフガニスタンに関するプレゼンテーションと食べ物販売
詳しい情報は文教大学のホームページでチェックしてください。

106-0041 東京都港区麻布台2-2-1
在日本国アフガニスタン大使館

電話・ファックス
Tel: 03-5574-7611 ・ Fax: 03-5574-0195

ウェブサイト
www.afghanembassyjp.org



Contact Us

当大使館のニュースレターに関するご意見、ご質問等ございましたら、大使館広報部 Jason Pratt宛に電子メールにてご連絡下さい。

pratt@afghanembassyjp.org
Facebook: www.facebook.com/afghanembassyjp



アフガニスタン大使館ポッドキャスト

